

こうた kota

議会だより

VOL.
107
2003 2月1日



消防出初め式(平成15年1月11日)

- 2 「町民運動場の使用料を改正」など
- 4 一般質問「耐震化とあわせ学校施設整備を」など6人が町政をたず
- 10 「あの質問」その後どうなったか!!追跡レポート
- 12 わが町を思う I LOVE TOWN
- 13 委員会レポート...行政視察・協議会

年頭のあいさつ



幸田町議会議長

清水 忍

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、サッカーのワールドカップ、そしてノーベル賞のダブル授賞等、明るい話題もありましたが、北朝鮮による拉致問題、また景気の立ちなおりは未だみえてきません。厳しい財政状況はまだ続きそうです。

私たちが新しく議員になって、4年目を迎えました。町村合併をはじめ、教育、福祉の問題、山積する重要事業をどう展開していくか、残された任期中にできることは限られています。今年には統一地方選挙の年です。町民の皆さんの力で立派な議員を選んでいただくことにより、議会もその権能を高め、町も間違いない方向へ進むことができ、更なる発展ができると思います。

今年が、皆さんにとってよい年になりますよう祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

12月定例会のあらまし

平成14年12月定例会は、12月2日から19日までの18日間の会期で開かれました。今定例会は環境基本条例の制定ほか単行議案15件、14年度補正予算関係では、特別養護老人ホーム用地費など、7件。固定資産評価員の選任。合計24件が上程され、いずれも原案どおり可決承認しました。

今年8月に人事院の勧告が行なわれ、国家公務員の給与に関する法律が一部改正されました。人勤始まつて以来、初めて基本給が減額となります。また、配偶者に係る扶養手当も1万6,000円から1万4,000円に減額、ただし、3人目以降の扶養者に対しては、3,000円が5,000円に変更されました。

職員組合と十分な協議をしたか。
A 勧告以来、6回程度協議を行い、了承を得た。
職員の年収減は、1人平均どの程度になるか。
A 1人平均、年収で13万3,000円減となる。
職務、職責を基本とした能力実績で、給与の上げ下げを今後考えていくつもりはあるか。
A 今後の検討としたい。
(賛成多数で可決)

職員の基本給

初めて の引き下げ

議員と特別職の 期末手当削減

これで期末手当の削減は4年連続です。今回の条例改正で、0・05か月分減となり年間3・5か月となります。

(全員賛成で可決)

幸田町環境基本 条例できる

環境基本法に基づき、環境の保全及び創造について基本理念を定め、町、町民、事業者の責務を明らかにし、基本計画を定める条例です。

森林、農地等の具体的な保全策を問う。

A 林道等の整備をすることによって、管理、環境を守っていく。

Q 毎年行なっている農業の一斉散布は、どう考え

A 環境基本条例に反する散布、場所、条件等十分考える。

(全員賛成で可決)

福祉施設整備 基金条例の制定

従来からの地域福祉基金は、果実運用型基金で取り崩しができないため廃止し、福祉施設整備に必要な財源を確保できるよう、取り崩し可能な基金とするため条例を制定しました。

(全員賛成で可決)

人事案件

固定資産評価員に
金澤 満 氏が選任されました。

(全員賛成で同意)

行政改革の推進

使用料・手数料の見直し

今定例会において、第6次行政改革の推進として、使用料、手数料の見直しが行われ、6つの条例が改正されました。

手数料徴収条例

一、印鑑登録証の交付手数料

50円から200円に

(一件あたり)

一、放課後児童健全育成事業

業手数料

2、500円から

3、500円以内に

(月額)



幸田文化広場庭球場

町民運動場の使用料を改正

大日蔭運動場、大日蔭グランドゴルフ場の専用利用の場合、使用料が徴収されません。庭球場は、昼間の利用時間を3時間単位から2時間単位に変更し、個人利用を廃止し、面貸しのみとします。坂崎・とぼね運動場の使用料は、端数金額が削減され減額となります。

一、大日蔭の専用使用料
運動場(全面)
3時間 1,000円
グランドゴルフ場
3時間 1,000円

一、庭球場(面貸しのみ)
3時間 610円から
2時間 400円に
(賛成多数で可決)

町民会館、町民プールの会議室の使用を有料化

一、1時間 400円
全日 2,800円
(賛成多数で可決)

その他の議案

- 幸田町税条例一部改正について (全員賛成で可決)
- 幸田町国民健康保険条例の一部改正について (賛成多数で可決)
- 幸田町社会福祉法人助成手続条例の制定について (全員賛成で可決)
- 幸田町水道事業の設置等に関する条例の一部改正について (全員賛成で可決)
- 幸田町水道事業給水条例の一部改正について (全員賛成で可決)

議員提出議案

- 町村自治の確立に関する意見書(案)の提出について (全員賛成で可決)

陳情

- 医療・介護・福祉の充実とくらしを守る陳情
- 厚労省通知に従い、高齢者の償還払いの申請手続き簡素化等を求める陳情
- 国の責任で30人以下学級の実現を求める意見書採択に関する陳情
- 教育基本法の改定ではなく、その理念の実現を求める意見書の採択を求める陳情 (以上4件賛成少数で不採択)

補正の主な内容

- 特養老人ホーム用地購入に 4,495万円
坂崎地区に予定される施設の用地費です。
- 福祉施設整備基金積立 1億6,600万円
福祉施設整備に使う費用の積み立てです。
- 六栗ゲートボール場のテント張替費用 525万円
破損したテントの張替修理費用です。
- 校舎耐震診断費用 304万5,000円
坂崎、幸田、萩、深溝、豊坂の5小学校の耐震診断審査手数料です。

水道事業会計
債務負担行為をすることができる事項について補正 (全員賛成で可決)

下水道事業特別会計 113万円
介護保険特別会計 1,111万円
通所介護サービス特別会計 19万円
老人保健特別会計 2,776万円

一般会計 2億8,214万円
国民健康保険特別会計 1,963万円

会計別補正予算

補正予算

特別養護老人ホーム
用地費など追加
3億4,195万円

町づくり・町の考えは？

ここが聞きたいQ&A

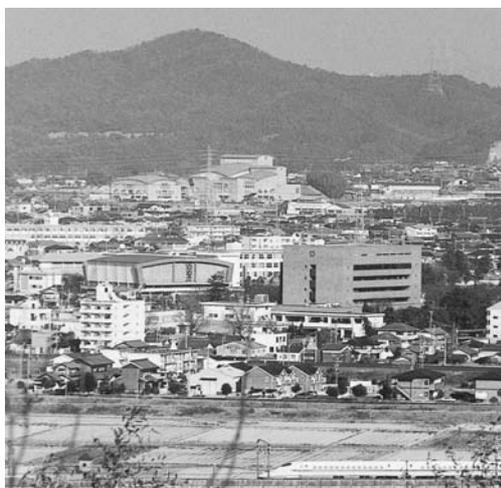
自治体らしい自治体へ転換を

町長

将来投資と当面事業の二兎追う



伊藤宗次 議員



六葉から役場庁舎および町民会館を望む

〔質問〕

02年度の財政力は1・24。全国でも屈指の財政力豊かな幸田町の学校が雨の日はタイヤやバケツが並ぶ教室。一方、相見土地区画整理事業に毎年1億円を越す補助金。「逆立ち町政」から自治体らしい自治体に転換を。

通院が4歳未満児まで無料を就学前まで医療費無料の拡大を。

市街化調整区域まで際限なく拡大させる下水道計画住民と車座で何回も話し合い、見直しを。

大企業に地方税法も認める適正課税で、1億5千万円の財源確保を。

町長〔答弁〕

町民会館、下水道などの施設整備の償還で財政負担がかかり、不交付団体ではあるが、財政豊かとは考えていない。

相見は、明治からの要望で、平成元年から積み上げてきた。将来への負担を怠

った場合、町の発展はないので、将来への投資と当面の問題の二兎を追う。就学前までの医療費負担は、3、500万円の負担増となり検討する。

公共水域の保全から下水道整備で全町下水道化。

超過課税は県下15団体が実施しているが、直ちに取組み考えはない。

〔質問〕

企業、町内会ぐるみ選挙なくせ

企業・労組ぐるみ選挙は、企業に関係する者の「生殺与奪」を労組と一体で迫り、有権者の自由な意思をしばる憲法違反の行為である。

町内会ぐるみ選挙も、区組織を使い選挙に住民を狩り出す。「おかしいではないか」などと言えば「あいつは共産党だ」などと言いつらし、思想信条の自由さえ認めぬ前近代的なぐるみ選挙である。

選挙は、有権者の自由な意思を守るため、ぐるみ選挙なきように企業・労組に申し入れ指導を。区組織を悪用させぬ指導を。

町長〔答弁〕

公明、公正、適正な選挙は、選挙民に与えられた最大の権利で民主主義の根幹である。

かつては本町も相当なくるみ選挙が存在したが、改善されてきた。

4月の区長会でも、ぐるみ選挙はだめとお願ひしてきたが、いろいろな会合で公明な選挙が確保できるよう啓発していく。

企業は、本町だけの問題ではなく、関係機関と対応していく。

統一選の1か月前に明るく選挙の推進大会を予定している。

明るい選挙の推進大会で啓発

樹皮、蓄糞、生ゴミの堆肥化を

町長 燃やさないゴミ処理で温暖化防止



杉浦 務 議員

〔質問〕

地球温暖化防止、循環型社会に対応する資源のリサイクルは。

- (1) 剪定枝等のチップ化機械が導入された。このチップの堆肥化の考えは。
- (2) 蓄糞の堆肥化は畜産農家の環境も対応も違い、立派に対応されている農家もあるが一部で悪臭、水質汚濁が見られる。この蓄糞の堆肥化の考えは。
- (3) 3か年の実験結果、先進地の状況、増え続ける生ゴミを考えると堆肥化施設は必要だと思つがその考えは。



こっちを注目

町長〔答弁〕
環境問題は重要な課題であり、燃やさないということを中心にしたごみ処理は極めて大事である。

- (1) 剪定枝のチップは農地への被覆剤として利用し、早い時期に堆肥化していく。
- (2) 県農業改良普及センターの指導で取り組みをしているが、畜産農家の堆肥プランを活用し幸田ブランドの堆肥づくりをすすめる。

(3) 町内2、3か所をめどに、まず第1か所適当な場所に建設する計画。

非常持出袋
全戸無料
配布を

〔質問〕

東海地震防災対策強化地域に指定された。

9月7日防災広場で東海地震を想定し、地区防災会や女性の会、企業などの39機関692人が参加し避難訓練や消火訓練、非常食の炊き出し訓練が真剣に行われ参加者は十分認識された。それぞれの地区で防災組織を作り真剣に取り組んでいるが、多くの町民の意識はまだ低い。

明日にでも発生するかもしれない大地震に備え、全町民の意識高揚のために非常持出袋を全戸無料配布する考えは。

防災意識
啓発になり
取り組む

町長〔答弁〕

地域自主防災会、ボランティアなどと連携を深め、機能的に立ち上げられる体制を強めていく。

非常持出袋は、各家庭に常備することで防災に対する意識啓発の引き金にもなる。大変貴重な提案でありよく検討し取り組んでいく。



荻不動ヶ滝園地に上下水道を

町長

水環境整備事業にあわせて



草次孝一 議員

〔質問〕

町唯一のキャンプ場であり、バードウォッチング、健康の道ウォーキングやグループのバーベキュー等で賑わっている。

昨年のキャンピングなどは届出3、675人であった。

不動明王の夏祭りなど、四季を通じて訪れる人は、推定6、000人以上と思われる。

今後アウトドア志向はますます強まり、利用者の増加は明らかである。

築後20年を過ぎた汲取り

便所を水洗便所に改修し、あわせて飲料水の確保をすべきである。

その施策を問う。

町長〔答弁〕

園地の現状では衛生面や環境対策から整備を望まれていることは十分認識している。

既存集落から遠く、地形の高低差があるため、上水道の加圧ポンプ設置、下水道の浄化槽設置等考えられる。整備手法にも課題が山積し早期整備は困難である。

一方、不動ヶ池を中心に県営水環境整備事業が土地改良事業で計画されており、この事業推進とあわせて園地の水道、便所などを一体的に整備する方策を探っていく。

「たてもの
立物」の
無形文化財
指定を

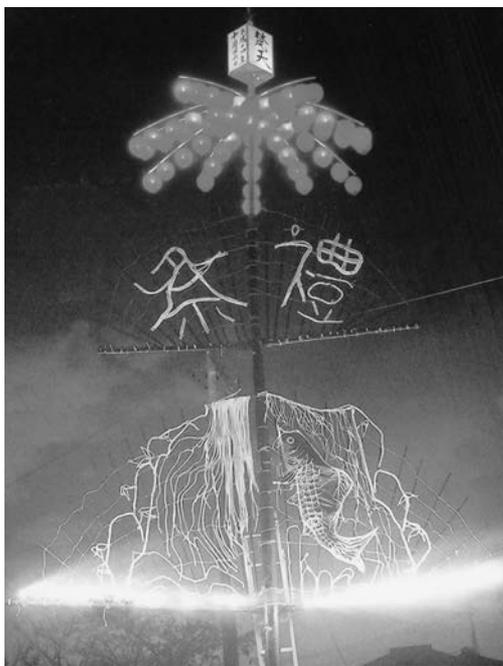
〔質問〕

荻地区に伝わる「立物（仕掛花火）」は、天保15年（158年前）に起源する伝統の花火と言われている。

岡崎市細川町や新城市にも同類の花火があったが、後継者がなく消滅した。

現在は当地にしか存在しない希少価値のある花火であり、幸田町の誇れる無形文化財であると思う。

保存会が花火作りの技術



点火された立物（仕掛花火）。荻祭礼にて

保存に努力しているが、高齢化し後継者もなく、存続が危惧されている。

町指定文化財として保存を支援すべきである。

その考えを問う。

保存会の
体制づくり
が重要

価値として一定の評価を受けているが、指定の段階には至っていない。

補助事業としてふさわしい形態を整えていくためには保存会の事業計画、予算管理、日常的な活動、そして継続性が見込める後継者対策など団体としての体制づくりをお願いしたい。

その環境が整えば、改めて文化財保護委員会に諮っていく。

町長〔答弁〕

無形文化財指定の要望を受けて、文化財保護委員会で既に検討され、文化財の



不動ヶ滝

教師の充実は町単独予算で

町長 9校すべてに1名の加配を



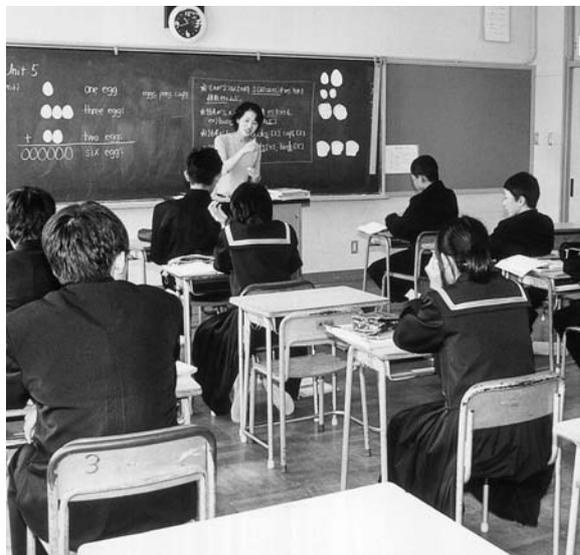
笹野康男 議員

〔質問〕

新しい教育制度で、学校が週5日制になり総合学習のもと、ゆとりある教育が行なわれている。しかしながら、学習時間の減少等で子供たちの学力低下は否めない事実と考える。

そこで習熟度別に分け、基礎、基本をしっかりと身につける教育をするために、少人数授業にもっと取り組み、教師が目くばり、気くばりが十分できるように考えるべきである。

県からの加配を待つのではなく、不足する小中学校の教師の加配を町単独予算で実施する考えを問う。



英語の少人数授業（幸田中学校）

町長〔答弁〕
平成14年度までに幸田町には5校6名の教員が少人数指導授業のために県から加配をされている。
一方、加配のなかった4小学校では、それぞれ学校独自で少人数授業に取り組み成果を上げているが、教員が無理をしたり、職員室に教員が少なくなるなどの状況が出ている。
少人数授業に対して、引き続き県に教員の加配を要望していくとともに、町単独で非常勤の教員を確保し、9校すべてに1名の加配を考えていきたい。

町民運動場の将来計画

〔質問〕

中央運動場、横落公共広場が売却されて以来、大人も子どもも団体スポーツをする場所が少なくなり、非常に困っているのが現状である。

現在、体育協会（ソフトボール協会・野球連盟）の行事、子ども会のソフトボール、サッカーなどが盛んになってきた。スポーツを

通じて、心のふれ合い、コミュニケーションが大切であり、その場所の確保が必要である。今あるグラウンドの整備と、新たなグラウンド施設の考えを問う。また、新しい幸田中央公園の利用方策を問う。

現有施設の整備と有効利用

町長〔答弁〕
ソフトボール、野球が利用可能な施設としては、坂

崎運動場、とぼね運動場、大日蔭運動場等があるが、子ども会活動については、極力学校または地域の住民広場の利用を依頼している。現状では、他にソフトボール等の施設確保が難しい状況にあるため、既存運動場に防球ネット、フェンスを設置したり、取替えをすることに利用しやすい施設に改善をしていきたい。なお、幸田中央公園の運動場は、広く利用していたら、くよう、その方策を探ってきたい。南部運動場は、農村振興総合整備事業の中で考えたい。



とぼね運動場

母子寡婦家庭福祉助成の拡充を

町長

子育て支援の充実



山本 勉 議員

〔質問〕

(1) 母子寡婦福祉法、児童扶養手当法が改正され平成15年4月1日から施行される。一人親家庭の自立と総合的に支援するための法律の改正とされているが、その支援策は、

(3) び激変緩和措置は、一人親家庭児童の学童保育について、

1年生から6年生までの受入れは、夏休み等の長期休業日のみの受入れは、土曜、日曜、祝日、等休日保育の受入れは

童保育)の設置が完了する。長期休業期間は、午前8時30分から午後6時まで開設している。日曜、休日の受入れは、今後検討する。

(2) 児童扶養手当、遺児手当等が所得限度額の大幅な引き下げによって減額または停止となる。母子家庭への経済的助成および

町長〔答弁〕

(1) 町として、現行の月額3,500円の支給を継続するとともに、来年度予算編成にあたって可能な部分については措置努力をする。

(2) 児童扶養手当は国の制度、遺児手当は県の制度として支給されている。県の遺児手当と同じ内容で、母子家庭等医療の助成が受けられる。

(3) 平成15年度で全小学校区に児童クラブ(学

計画道路用地買収と維持管理は

われるが雑草、排水対策等の維持管理の責任は、

(3) 広田川改修拡幅工事の用地買収は平成3年に行われた。収用法適用のために残された未買収地の早期買収は、



今のペースでいくと、7〜10年程かかると予想されるが、早期買収を県に強力に要望する。

(2) 維持管理の責任は、原則として土地所有者にある。

(3) 現在事業の重点区間としては、占部川との合流点から下流が設定され、用地買収等が進められている。工事についても下流からが基本として進められている。

県へ強力に要望努力

町長〔答弁〕

(1) 街路面積のうち今年度までに6,800㎡が買収済み、残りが7割程度、

〔質問〕

(1) 県道須美福岡線バイパスが計画され、県営永野ほ場整備がらみの全体減歩で用地の確保がされた幅16m、延長1,000m、街路面積1万9,300㎡の用地買収進捗状況と今後の見通しは、

(2) バイパス工事完成までには長期間を要すると思



児童クラブ(荻谷小学校にて)

耐震化とあわせ学校施設整備を

町長 効率的な整備で対応



丸山千代子 議員

〔質問〕
 小中学校の老朽化が進んでいる。雨降りの時に、タライ・バケツで雨漏れを受けている実態はすぐ改修すべきである。



北部中学校の外壁改修工事

学校プールは、建設されてから一度も塗り替えず、荻谷小ではプールの塗装がはがれ児童が怪我するという事故がおき、中央小では

塗装片が浮遊している。

子どもたちが、健康的、安全で快適な環境で過ごすことができるようにするのが学校施設整備の方針ではないか。

外壁塗装、建物の亀裂、プールの塗装など、耐震化と併せ、計画改修すべきだ。

町長〔答弁〕

学校施設の整備の中で、雨漏りは最優先に考える。総点検については、毎年学校から要望が出され、ヒヤリングを行い学校側と調整し、改修工事を施工している。

サッシ部分からの雨漏り

は台風時に限るもので、耐震診断で耐力壁の必要が認められれば、併せて同時施工し効率的に整備する。

介護保険料の値上げしないで

〔質問〕

介護保険事業計画は5年を期間とし、3年ごとに見直し、来年4月に制度見直しがある。

厚労省調査では、65歳以上の介護保険料は全国平均で11%の引き上げ率で、年金生活者にとって大きな負担となる。

町は「現時点でアップ率をおさえる方法がない。下げる要因がない」と、2案の引き上げ額を示されているが、基金を繰り入れると9・8%、繰り入れないと19・8%となっている。基金残高は5、660万円であり、基金を繰り入れ引き上げを抑えるべきである。

負担の軽減に努力

町長〔答弁〕

保険料については、現在国で制度の見直しが進められている。

40歳から64歳の保険料が33%から32%に引き下げられ、65歳以上の保険料が17%から18%に引き上げら

れる方向で改正が進められており、保険料の引き上げは避けられないと考える。国から介護保険の報酬が示された後に、町として高齢者保険福祉計画等推進会議に諮り、基金をどれだけ投入するか等、負担の軽減には努力しながら保険料を定めていく。



デイサービス（まどかの郷にて）

追跡

あの仕事は
どうなったの!

平成13年3月議会

剪定枝などの炭化で
ごみ減量を

Q
question

チップ化と炭化を検討

A
answer

その後
Afterward

処理機械及び移動用車輛を購入し、庭木、果樹等の剪定枝チップ化事業を平成14年12月2日に運用を開始しました。

- (1) 運営は幸田町シルバーク人材センターで行います。
- (2) 処理は坂崎地内の集積場で行います。ただし現場でもできます。
- (3) 稼働は毎週火・木曜日の午後1時30分から午後3時までです。



剪定枝チップ化事業

平成13年9月議会

学校に
洋式トイレの設置を

Q
question

A
answer

その後
Afterward

各小学校の各階に1か所設置を実施計画に組み入れる。

14年8月、学校の夏休み中に、全小中学校（小学校6、中学校3）の各階便所に男女それぞれ1か所を洋式便所に、教職員用についても、各校男女1か所がシャワートイレに改修され、気もちよく学校生活ができて喜ばれています。



南部中学校にて

いっぱん質問その後

平成13年9月議会

歴史の重要な
財産、文化財保護のため
収蔵庫の整備を

Q
question

収蔵する施設は必要であり、実現に向けて前向きに進める。

A
answer

本格的な資料館の建設は当面難しいので、現在必要な大きさの仮設倉庫を建築して資料を収蔵します。
郷土資料館の北側の空地に軽量鉄骨平屋建17㎡（5・1坪）で15年4月から使用開始ができるよう建築が進められます。

その後
Afterward



郷土資料館と収蔵されている丸窓付壺

平成13年12月議会

農村振興総合整備事業の
推進を

Q
question

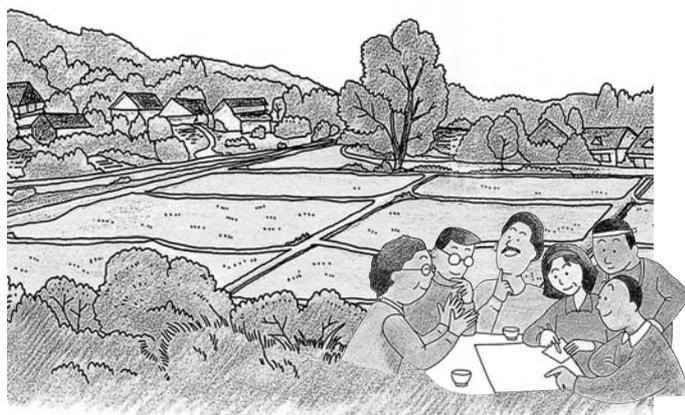
A
answer

私たちが**集落**をつくる

調和のとれた町づくり

その後
Afterward

平成14年に採択をつけ、市街化調整区域を対象として、本年度から事業期間5年、事業費13億5、900万円（国、県補助を含む）の予定で実施します。
農業用排水施設、集落道路、防災安全施設、農村公園施設など42か所の農村生活環境基盤および都市と農村との交流促進の整備を総合的に実施する。
活力と個性ある農村地域づくりを積極的に推進していきます。



I LOVE TOWN

わが町を思う



荻から望む幸田町の最高峰、遠望峰山（標高439m）

【荻区】
高井 広子さん

遠望峰山に
癒されて

退職を機に健康管理と余世をいかに過ごそうかと考え悩み、結論のでないまま時は過ぎていった。そんな折、首を傾げる愛犬モックの二つの瞳に出会った。

こうして四季折々変化に富んだ遠望峰山の散策が始まりました。山へ一歩足を踏み入れた時の何んとも言えない静寂さと、澄みきつた空気をごちそうにして、山は大きな手をいっばい広げていつも迎えてくれます。この山懐に生れ育った私は、遠望峰山が大好きです。そんな山に、ごみ処理が細分化され厳しくなった昨今、所かまわず捨てていく心ない人が居ます。一人一人が規律を守れば、山はいつまでも元気で美しいはずで、いであられるのに……。

そんな事を思いながら、今日も山を歩いています。

人が人を
思い合う

【上六栗区】
岩瀬 美恵子さん

縁あって幸田町に住み40年、長いようで短かったように思う。

当初は家の前の道幅も狭く、川も狭かったけれど水はきれいでしたね。

あの頃はリサイクルということも知らずに生活していま

した。今日のような暮らしではなかったものの、やりくりをして捨てるものということはなかったように思う。

世の中の流れそのままに毎日過ぎていきますが、昔に戻す気持ちを持たないと大変なことになりはしないか心配。南部中学の生徒さんがリサイクルの勉強をしているのを知り、笑われない生活様式にしていく必要があるのではないかと本音で考えさせられる。ありがとうと言える心、感謝の気持ちが一一人にあるならば、幸田町に幸がくると思う。

12月31日の夕日にありがとうの気持ちを。



南部中学校のリサイクル活動

総務

公務員給与

初の引き下げ

11月22日、総務委員協議会を開催。

景気の低迷による、きわめて厳しい民間の情勢を受

け、国家公務員一般職の基

本給が民間を上回り、昭和

2・03%）が勧告されま

した。

人勤に準じ、特別職、議

員の期末手当、および町職

員の給与の減額改定など説

明を受け協議しました。

第6次行政改革の一環と

して、多様化したニーズに

公平、適確かつ迅速に対応

するため、使用料、手数料

の見直しの説明を受け協議

しました。



役場1階事務室

行革の推進と 消防庁舎を視察研修

11月6日～8日の3日間、

北海道倶知安町役場、およ

び当別町と美瑛町2町の消

防庁舎を行政視察しました。

倶知安町

行政改革の取り組み等

について研修しました。

行政事務と受益者負担

の見直しについて

民間委託の推進につい

て

役場組織・機構の見直

しについて

行政情報化の推進と行政サービスの向上について

4項目について、行革の推進方法など意見交換し、意義ある研修をすることができました。



石狩北部地区消防事務組合
消防本部（当別町）

産業建設

大井池改修事業

15年度採択（予定）

11月18日、協議会を開催し、建設部から7項目、上下水道部から3項目、各課共通2項目の説明を受け協議しました。

池地区について
昭和18年当時県内2番目の規模を誇るため池として県によって築造されました。昭和36年に余水吐が決壊し、県営老朽ため池補強事業として整備され、以来41

年間地域に寄与してきました。しかし、余水吐の能力不足が生じており、浸透水も見受けられる。堤体の勾配が現基準に合わないので地域住民の安全確保のために改修する。

総事業費 21億円

工期 平成15年～平成21年です。

2 一般国道23号線岡崎バイパス工事概要

道路延長6、020mの連続立体交差の道路工事が須美・芦谷間で行われています。



大井池

文教福祉

学校、町民会館を視察



学校視察（北部中学校、美術の授業）

本年度の文教福祉委員会の学校訪問で2点について問題が提起されました。

1 この4月から学校完全5日制の実施と、新学習指導要領がスタートしました。各学校では教職員が英知を結集して、生きる力と確かな学力の習得のための取り組みをされています。特に少人数授業や習熟度別の授業には、教職員は知恵を絞り取り組んでおり、町当局の今後の対応が期待されます。

2 学校施設の維持管理が十分ではないことです。

今後は年次計画を立て、計画的な保守、改修がされるよう取り組むべきであると判断しました。

また、今年度は町民会館の視察も取り入れられました。ふだん目にするのではない舞台裏や、さらに天井裏、機械室を視察しました。町民会館で使用されている消耗部品や更新を必要とする機器類などの多さには驚きました。今から準備基金の用意も検討すべき課題です。

住民が

期待する議会

会 議 運 営

10月31日と11月1日に、石川県鶴来町と能都町を視察し、住民が期待する議会のあり方、また、活性化等について研修しました。

鶴来町議会は活発な委員会活動が行われており、所属以外の委員会の傍聴も盛んであるということです。

また、平成12年から、日曜議会あるいはナイター議会を開催しており、傍聴される方も増えたそうです。

能都町議会は、本会議をCATVで全戸に向けて放映しており、町民も議会に強い関心を持っておられると感じました。

両町ともに特徴があり、本町の議会運営にも参考となる点が多く、意義ある視察ができました。



能都町にて



(仮)相見駅周辺整備事業
(鷺田から岡崎市福岡町の方角を望む)

菱池遊水地計画

白紙化か？

合 発 総 開

次の3項目について各担当課より説明の後、協議を行ないました。

- 1 菱池遊水地関連土地改良事業の進捗状況

良事業の進捗状況

仮同意書を取りまとめる中で、一部の反対運動から事業を進める事が厳しい状況となった。遊水地の建設を含め、しぼら

- (1) く風を入れざるを得ない。遊水地事業は実施すべき極めて重要な事業だ。断念した訳ではない。
- 2 幸田駅前土地区画整理事業
 - (1) 施行面積1・4ha当初計画に対し、県より3・3haに変更するよう指導が入った。これは県の財政難が大きな原因。
 - (2) 法改正を待って、年明けから地元説明に入る。
 - (3) (仮)相見駅周辺整備の動きは今のところない。引き続き努力していく。

10月17日に浜北市の環境センターを行政視察しました。

一般廃棄物最終処分場は、14年4月から供用開始され、特に環境に厳しい欧米の処分場を模範とし、遮水構造を、上層を遮水シート、下層をベントナイト混合土(粘性土)とベントナイトシートとし、三重構造としている(国の基準は二重構造)。また、他の処分場では実施されていない特徴として、埋立地からの浸出水は、処理施設で浄化後、河川へ放流せず公共下水道へ放流している。周辺地域の自然環境の保全について、多方面から最大限考慮した施設であると感心させられました。

環 境 特 別

最新の 最終処分場を視察

11月12日、協議会を開催しました。保健環境課より、六栗大木地内で一般廃棄物最終処分場の建設候補地の地域の役員、地権者等、皆様に建設推進の同意を頂いたとの報告を受けました。そして、建設に当たった14年度の業務概要が示されました。



浜北市環境センター

町議会への請願・陳情は...

請願・陳情は、国や地方公共団体に対して、さまざまな問題の実情を述べ、適切な措置を要望するもので、国民に認められた憲法上の権利です。

町議会への請願・陳情の方法は次のとおりです。

1. 件名、要旨及び理由を明記し、提出年月日、住所、氏名を記載して押印してください。
2. 請願書は、その表紙に紹介議員一人以上の署名又は記名と押印が必要です。(陳情書には必要ありません。)
3. 道路等に関するものは、案内図や略図等を添付してください。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

☎63-5151 (直通)

丸山千代子議員 表彰される



平成14年10月28日、
愛知県町村議会議長会

功績によるもので、
治の振興に寄与された
職15年の永きに
わたり、地方自
治の振興に寄与された
功績によるもので、

総会において、
自治功労表彰を
受賞されました。

町議会議員在
職15年の永きに
わたり、地方自
治の振興に寄与された
功績によるもので、

議員研修会

議会では、研修を通じて議員の識見をさらに広め、資質の向上と相互の交流を深めるため、広域的にいくつかの連絡協議会を組織しています。

14年秋季には3回の研修会がありました。
10月10日 三河中央部



西三河四郡町村議会議員研修会

市町議会議員研修会「ウエルサンビヤ岡崎」

名古屋大学名誉教授

堀内守氏「地方自治はこれからどうなるか」少子高齢化から街づくりまでの講演を聞きました。

10月30日 西三河町村議会議員研修会「吉良町農村環境改善センター」

名古屋工業大学システムマネジメント工学科教授

谷口仁士氏「自治体を取り組む地震防災のあり方について」の講演を聞きました。

11月26日 西三河四郡町村議会議員研修会「三好町文化センター」

元NHK政治評論家 岡村和夫氏「21世紀の国内政治と地方公共団体のありかた」についての講演を聞きました。つづいて愛知県知事神田真秋氏から地方分権と地方交付税について講話がありました。

これらの研修はいずれも今後の議員活動に有益なものとなりました。

お詫びと訂正

106号P4の人事案件の記事の中で、固定資産評価審査委員会委員とすべきところを固定資産評価委員と掲載しました。関係の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びし訂正します。

あなたも議会を傍聴してみませんか

3月議会の本会議は、
下記のとおり行う予定です。

会期の日程

- 3日(月) 開会、議案の説明
- 6日(木) 一般質問
- 10日(月) 一般質問
- 11日(火) 議案の質疑
- 12日(水) 議案の質疑
- 26日(水) 閉会、討論・採決

場所 役場5階 議場
時間 午前9時から

詳しくは議会事務局へ
☎63-5151

編集後記

昨年11月、ビッグニュースが飛び込んできました。日本人初のノーベル賞ダブル受賞。物理学賞の小柴昌俊さんと化学賞の田中耕一さんです。特に田中さんは、会社の作業服が似合う研究者で、飾り気のない人柄がマスコミに大きく取り上げられ、国民的人気者になりました。12月8日受賞式前日の講演で、「一人の天才による成果ではなく、チームワークの勝利だ。高度の専門知識や高い学歴がなくとも、科学技術の発展に貢献できることが実証できた。」とっておられます。まさに国民に夢と希望を与える言葉でしょう。

この先寒い日はまだ続きます。どうかご自愛ください。そして議会だよりを愛読くださいますようお願いいたします。